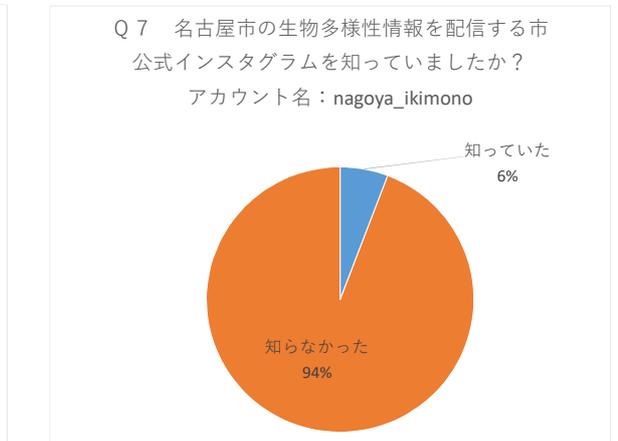
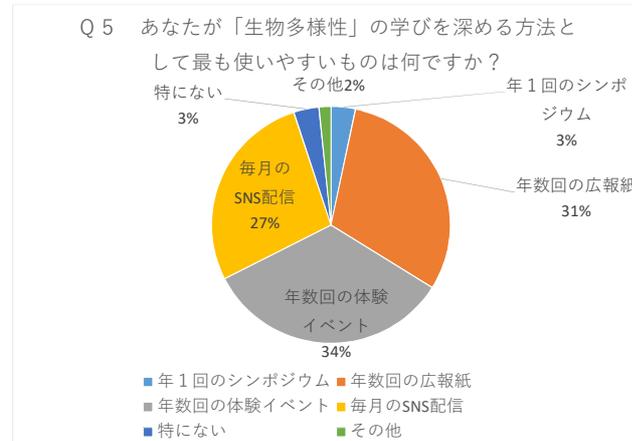
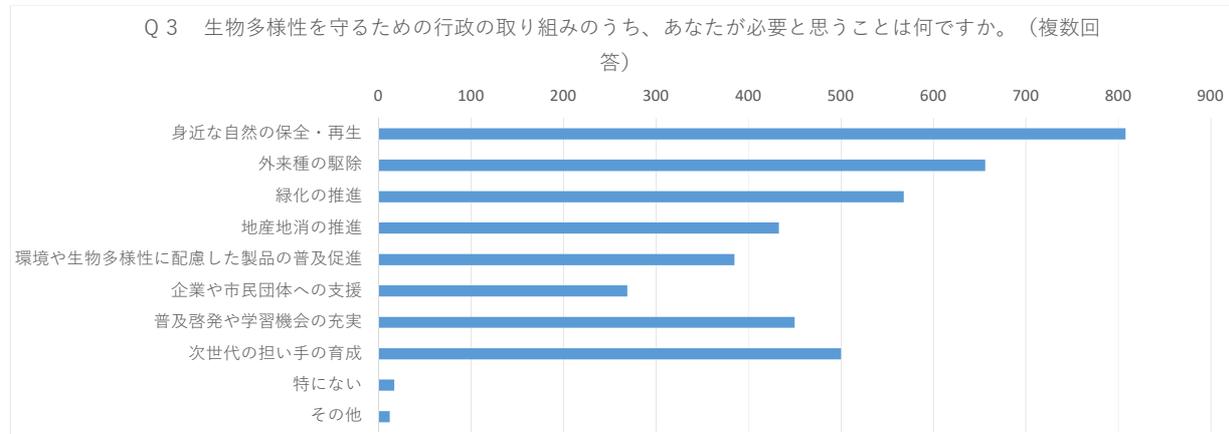
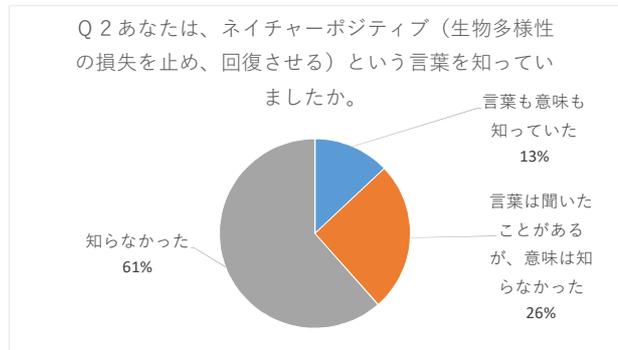
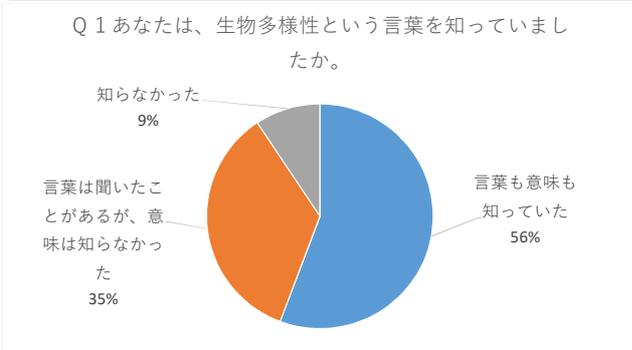
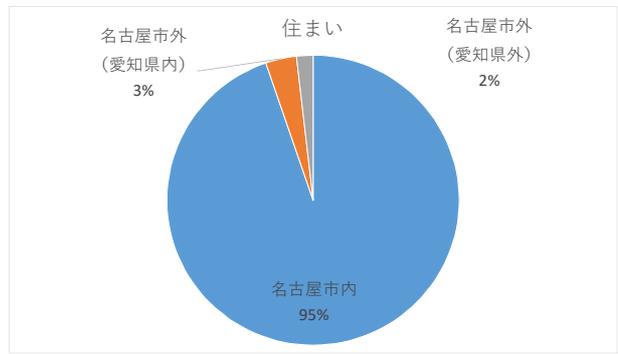
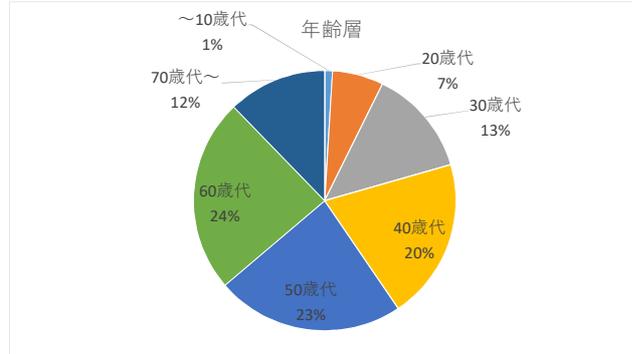


2025年5月 生物多様性 市公式LINEアンケート結果

タイトル	【国際生物多様性の日】生物多様性についてアンケートをお願いします！
リード文	衣・食・住をはじめとする私たちの生活は生物多様性（生きものの個性とつながり）の恵みで成り立っていますが、現在、人間活動の影響で年間4万種という生きものが絶滅するなど、生物多様性は危機的状況となっています。その危機を止めるため「ネイチャーポジティブ」という目標を掲げ、市も取組みを進めています。
実施期間	2025年5月7日12:05～13日23:59（約6.5日）
回答者数	935人



Q4 (Q3で「その他」と回答した方のみ)生物多様性を守るための行政の取り組みが必要だと思うことは何ですか。(自由記述)
外来種を悪者扱いはやめてほしい。
各家庭でも小さな取り組みが必要だと思います。例えば…野鳥の餌台や巣箱の設置など
大学などの研究機関の専門家への協力要請や研究への投資
子どもから年寄りまで楽しく学ぶイベントを開いたり、番組を作って紹介して欲しい
ペランダにも、アゲハチョウが飛んできています。柑橘系の🍊を種から育てて、蝶々が葉を毎年食べに来ています。植えておだけで、青虫🐛がたくさん出て、木は丸坊主になります。ヒラヒラとアゲハチョウがペランダを舞います。こんな簡単にアゲハチョウを呼べます。広報で呼びかけましょう。近所の子供もやっています。
専門家のアドバイスに基づいたネイチャーポジティブな工事施工や業者指導
生物多様性を考えるにおいて、生物の進化も考えて取り組みいただく必要があると思います。人間を含め生物は歴史上の苦難に直面しては進化や衰退を繰り返して今に至るということは、今後においても苦難に対し進化や衰退をすだろうと理解しています。
生物多様性に興味がないんだよね！😞
①外国産の生き物や食べ物を規制強化する。経済優先ばかりではなく安全性と生物多様性を十分に配慮し、地産地消を名前ばかりでない確実な仕組みに仕上げるには規制強化が必要。今のままでは、地産地消と言いながら制度が実質逆行しており、地産優先の仕組みが弱い。②危険な農薬や神経毒防虫剤を規制強化し、本気で本腰を入れて国内の生き物の生命と健康を守ること。
エコトーンの整備
緑の大切さをいろいろな場所で啓蒙する
市が管理する土地の緑化 割合を増やす。その際植樹等義務教育のみならず、高校生大学生にも手伝ってもらおうべく働きかける
近くの自然に皆が目を向ける事も必要だと思う
次世代教育と外来種の駆除は必要
ポイ捨て防止強化、歩きタバコ防止策
緑化とかポヤけた事ではなく、森林や山、川等々の整備から始まるのでは？ちょっとしたスペースでも動植物問わず外来種は増えてます。
学校教育の中で、なぜ必要なのか、しっかり考える機会を設けてほしい。いろいろな場面があると思う。
日頃使う洗剤や除草剤が生物にとって害がないか 製造企業に研究費用を助成するなど 安心して使える様にしてほしい
行政自体のより積極的かつ幅広い研究調査活動。生物多様性認知度向上。現在は元々知っていた人等が環境デーなごや等に参加しているが若い新しい人達(興味が無い人)の認知をあげなければ先は無いと考える。
🌍地球温暖化対策
市民参加型のイベント等の推進、まちづくりに取り入れる(日常に意識化する仕掛けづくり)
市民参加型のイベントや勉強会
情報を得るきっかけ等、ツールや講義、チラシ等で気に止める些細なきっかけがあると助かります。私が詳しく知らない為、このLINEで知ったレベル。もっと詳しく知るには、逆にどうしたら教えてくれるのが知りたいです。じゃんじゃん発信して欲しいです。
固有種、亜種の調査
大人も子供も周知と教育の機会提供
官民の協力和市民ボランティアアンバサダーの擁立
学校教育のなかでミニビオトープをつくるなど、生物多様性が身近に感じられるアクティブ学習
河川、溜め池の清掃
そこまで行政が市民の税金を使って守る必要はない。
しっかりとした広報活動によって市民への認知を広げる必要はあるが、行政自ら活動する必要はない。
名古屋港水族館や東山動植物園のような施設での世界の希少生物の保全
とりわけ第一次産業に関わる人、機関との連携。例えば農林業が生物多様性に果たす役割は大きいと思うので。

Q6 (Q5で「その他」と回答した方のみ)具体的な方法があればぜひ教えてください。(自由記述)
テレビ、ネットで発信
書籍
短い動画などで絶滅しようとしている生き物を紹介して、何故絶滅しようとしているのか？どのような取り組みが必要なのか？保護活動などを教えて欲しいです。
絶え間ない市民・事業者への普及啓発
身近な生き物、アリや蟬、とかげ、やもりクモ、バッタなどを居なければいけない大切なものとして教え、それらが生きる為に必要な環境、私達は何をすべきなのかゴミ削減、自分の土地であってもなるべく緑の地面を残すことなどを広めて欲しい。「雑草」は根こそぎ取るのではなく上手く美しく管理することを教えて欲しいです。
年齢別の体験イベント新聞などで目にするイベントは、親子で…みたいなのが多い
生物多様性を考える本を読みたい
動画配信サイトによる継続的な情報や知識の発信
QuizKnockなどの有名なYouTuberのとコラボで学びから考え事を促す等の行動が必要ではと考えます
やはり幼い頃からの教育かな？在住外国人へと同じくで子供達が無知な大人達への橋渡しになれる社会が大事なのでは？
その場に応じた学び
ネットニュース コラムユーチューブ
論集
毎月発信されるSNSをアーカイブで見ることが出来る。テレビなどメディアの活用。

<p>選択肢は全て有効かと思います。現在仕事でアメリカに住んでいますが情報も入って来ないので、名古屋や日本の取組の良さを感じます。外国人も参加しやすいと自国に持ち帰って意識や活動に繋げるきっかけになるかもしれません。</p>
<p>選択肢の中にあつたさまざまなやり方でけっこうな頻度で発信して行くと興味を惹くのではないのでしょうか。情報を得る手段は年代で分かれて来そうなので。</p>
<p>学校でタブレット等を使用して行う調べ学習と、実践観察記録の作成</p>
<p>まずは市民に対してすべてのサービス(広報の閲覧、市のお知らせサービス、スマート市役所機能、敬老バス等の機能が全て入っているアプリを作るべき。一宮市はイチデジがあるのに名古屋はなぜこうも遅れているのか理解に苦しむ。そういった皆が使うアプリからの広報をすれば認知度も上がる</p>
<p>動物園等でのイベント</p>
<p>義務教育の過程にこういう事を学ぶカリキュラムを取り入れる、とか。</p>